

令和7年 太田市教育委員会4月定例会会議録				
開会年月日		令和 7年 4月17日(木曜日) 午後 2時		
閉会年月日		令和 7年 4月17日(水曜日) 午後 2時40分		
開 会 場 所		尾島庁舎 3階 教育委員会室		
議 案 (件 名)				結 果
議案第19号 太田市教育支援委員の委嘱について				可決
出席者	恩 田 由 之(教育長) 池 田 光 男(教育長職務代理者) 佐 藤 真太郎(委員) 野 村 路 子(委員) 倉 嶋 慶 秀(委員)		欠席委員	
	事務局	教育部長、管理担当副部長、指導担当副部長、 教育総務課長、学校施設管理課長、学校施設 管理課主幹、文化財課長、生涯学習課長、学校 教育課長、市立太田高校事務長、教育総務課 総務係長	書記・記録	丸山主任
		(福祉子ども部副部長、子ども課長) ()は欠席者		
議 題 及 び 議 事 の 大 要				
会議録署名委員の		池 田 光 男 委 員		
指名		倉 嶋 慶 秀 委 員		

事務局：

皆様こんにちは。本日は、令和7年度最初の教育委員会です。4月1日付人事異動がありましたので、4月定例会開会前に職員の紹介をさせていただきます。それでは、事務局職員の自己紹介を教育部長から順番にお願いいたします。

- ①長谷川 教育部長
- ②小川 管理担当副部長
- ③栗原 指導担当副部長
- ④新木 教育総務課長

(以下続く…)

ありがとうございました。

それでは、続きまして、教育委員の自己紹介を池田委員よりお願いいたします。

- ①池田委員
- ②佐藤委員
- ③野村委員
- ④倉嶋委員

ありがとうございました。

本日は、令和7年教育委員会4月定例会となります。傍聴者は、おりません。教育長、進行をお願いいたします。

議長(教育長)：

太田市教育委員会4月定例会を開会いたします。

日程第2、会議録署名委員は、池田委員、倉嶋委員にお願いいたします。

次に、日程第3、教育長報告を申し上げます。

昨年に引き続き新しく長谷川部長、小川副部長、新木課長、大澤主幹を仲間に入れて、ぜひそれぞれのチームで仲間の良さ、アイデアを出し合って、教育課題の解決に尽力していただければと思います。人は虹色のような気がします。いろんな色を持っていますので、その良さを消さないようにしながら、チームワークでやっていってください。よろしくお願いします。

続きまして、教育部長より報告をお願いいたします。

教育部長：

改めまして4月1日の人事異動により小内部長の後、教育部長を拝命いたしました長谷川です。よろしくお願いいたします。昨年度におきましては、議会事務局で議会運営事務を担当しておりました。2年前に教育部の管理担当副部長ということでおりましたので、また4月から気分を新たに頑張りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。さて、教育委員の皆様におかれましては、先日行われました市立太田高校の入学式で大変お世話になりました。新入生代表の大いに期待が持てる立派な挨拶を聞かせていただいて、これからの市立太田高校が頑張っていけるのかなという気持ちを持ったところでございます。また今後、令和6年度の卒業生の進路状況について報告をさせていただきますが、各々生徒の皆さんが自身の目標に向かって邁進できるように、支援そして指導をしてまいりたいと考えております。また、小中義務教育学校でも4月7日に天気にも恵まれて、無事入学式が行われました。今年度におきましては1,641名が新1年生となったようでございます。昨年にと比べると、やはり140名少ないというような状況でございますが、在校生も含め一人一人の子供たちに寄り添い、豊かに、そして健やかに成長していただけるように頑張っていきたいと考えております。最後になりますが、本市の状況も変化を迎えるところでございます。このような時こそ、ぜひ教育委員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力をいただければと考えておりますので、今年度もよろしくお願いいたします。

議長（教育長）：

ありがとうございました。

ここで、新年度初めの委員会ということで、事務局から組織及び事務分掌について説明願います。

管理担当副部長：

【組織及び事務分掌について説明】

（以下続く・・・）

議長（教育長）：

次に日程第4、議事に入ります。本日は、協議案件が1件、事務報告が3件ございます。

はじめに、議案第19号「太田市教育支援委員の委嘱について」学校教育課長より説明願います。

学校教育課長：

「太田市教育支援委員の委嘱について」【提案理由説明】

議長（教育長）：

ありがとうございました。只今の説明につきまして、ご質疑等はありませんか。

ないようですので、原案のとおり承認ということでお願いいたします。

続いて、日程第5、事務報告を取り扱います。はじめに、「損害賠償の額の決定及び和解についての専決処分について」学校施設管理課長より報告願います。

学校施設管理課長：

「損害賠償の額の決定及び和解についての専決処分について」【概要報告】

議長（教育長）：

只今の報告につきまして、ご質疑等はありませんか。

ないようですので、次の報告事項にうつらせていただきます。「令和6年度学力検査結果について」学校教育課長より説明願います。

学校教育課長：

「令和6年度学力検査結果について」【概要報告】

議長（教育長）：

ありがとうございました。只今の報告につきまして、ご質疑等はありませんか。

佐藤委員：

中学2年生の子が非常に良いスコアを出している一方で、小学6年生が非常に低いスコアを出しているようなんですけども、ちょうど今私の子供が中学2年生と小学6年生におりますので、それを思い切り反映しているような内容になっているなという感じになっています。娘のほうは、とにかく宿題が少なく、帰ってきてちょっとやったら終わり。「宿題やりなさい。」と言ったら「もう終わった。」と15分くらいで終わってしまうような感じで、本当に少ないようなかたちなんですけども、息子のほうは逆に量的に多くて、先生がすごく熱心に教えてくれるんだけど、ハードできついという話を良く聞いて、たまたまだったんですけども、小学校の段階でも息子のほうが比較的厳しく、たくさん宿題の量を出す先生にあたってきたという、そういう傾向

があって、娘は全部こう何か楽な先生と言ったらおかしいんですけど、優しい先生が多かった。先生方も出す宿題とか課題にばらつきがやっぱりあって、それに対して子供ってやっぱり適応してしまうところがあってですね、家に帰ってきてもっと勉強しなさい、これやりなさいって言っても、やはり嫌がる。これってやはり、トレーニングが不足している状況と全く同じで、要するに長距離もそうなのですけど、毎日ジョギングして動きを重複する人っていうのは、走ることも苦ではないのですけど、普段走らない人が突然走ったら5kmとかでもきつい。これと全く勉強も同じで、東大生はみんな勉強をするのが当たり前、一日7時間、8時間と絶対に量が必要、それをやらなければ絶対に受からないし、これが当たり前なんだっていう、その当たりの水準が高い。これがその当たりの低い子がいて、それが小学6年生なんだろうなと思っています。当たりの水準を上げていくのは先生しかできなくて、絶対にやってないので、先生が厳しくしていくっていうよりは少しく優しくするようなかたちのほうがすごく助かっていて、結果的に息子はレジリエンスっていう、困難に負けない力をレジリエンスっていうんですけど、レジリエンスがすごく高いです。走るということに対しても高いし、勉強するっていうことに対しても高く、体力があるから余計勉強も集中して長時間できるんですけど、娘は走るのを頑張りたくない、勉強も頑張りたくない、その水準が低い、みんなもやってない、なんで私がやらなきゃいけないのっていうところからのスタート。これが、先生方がこう量的なものの水準を変えていたきたいというか、ここは最低限やっていただきたいというようなことを、校長先生だったりとか、そういうところからご指導いただけるとすごく家庭が楽になるので、保護者扱いの教育委員からのお願いをさせていただければなと思っています。よろしくお願いします。

学校教育課長：

先ほども少し説明したのですけども、太田市には3つの柱ということでアウトプット、身についたら確認する、それから最後の積み上げる、ここを今継続してやっています。この積み上げるというところで、学校での学習にさらに家庭での学習で積み上げていく、これを継続していくということが大事だと思います。校長会、それから学校訪問もありますので、そういった家庭学習の充実ということについても、伝えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

議長（教育長）：

ありがとうございました。他にございますか。

ないようですので、次の報告事項にうつります。「令和6年度進路状況及び令和7年度入学希望者数の報告について」市立太田高校事務長より報告願います。

市立太田高校事務長：

「令和6年度進路状況及び令和7年度入学者選抜志願者数の報告について」【概要報告】

議長(教育長)：

ありがとうございました。只今の報告につきまして、ご質疑等はありませんか。

佐藤委員：

すごくすばらしい進学実績だなと思うのですが、私学の有名大学もいくつか出てきているのですが、これだけ国立が受かる中で早慶が一人も出てないというのは非常に珍しいなと思うのですが、学生の中の流行りといいますか、そこを受けようという何か傾向があるのでしょうか。

市立太田高校事務長：

流行りといいますか、そのあたりは私のほうも確認はしていませんが、難関の国立大学に進学した生徒は目標を持っていて、特に医学部志望の生徒たちについては、早稲田には医学部がありませんので、そういったところから感じております。

佐藤委員：

結構やはり勉強ができる子は国立に集中していて、その並行で少しそういうばやけている部分がある中で多少ほかの大学も私学は出ているけれども、医学系とかその科によっては共通点がない方に関しては受けていない状況といいますかね。

おそらくその何というか、市立太田高校がすごく進学校で、やはり進学校として進学したいなというところでわかりやすいのが東大と早慶なのかなと思うので、そのあたりは積極的に受験を進めるというか、おかしな話なのですが、私学とかだと当たり前の中で、進学実績をアピールする方法として何かこうガイドブックとかを積極的に置くとか、クラスの入り口とか、別にこれ見なさいとかではなくて、興味を引きそうなところに、進路指導室だけじゃなくて3年生の教室の後ろのほうに並べて置いておくとか、そういうのも一つの手なのかなと思いますので、ご検討いただければと思います。

市立太田高校事務長：

そのあたりも本校の進学校としてのアピールポイントになると思いますので、先生方にお話しをして、言い方は悪いですけど誘導といいますか、そういったほうに生徒の目が向くように

取り組んでいきたいと思います。

野村委員：

国公立大学に合格された方が38名いて、実際に進路状況で国立大学と公立大学を足すと37名なのですが、この1名の方はどのような進路を辿っているのか教えていただけたらと思うのですが。

市立太田高校事務長：

防衛大学に合格した者が国立大学合格と重複しておりまして、国立大学のほうに進学をしたために38名から37名ということになっております。

倉嶋委員：

非常に進学が素晴らしいと思うんですけども、就職した人たちというのは最初から就職希望だったのか、もしくは受験にチャレンジしてなかなか上手く行かなくてこの結果になったのか教えていただけますか。

市立太田高校事務長：

最初から就職希望です。生徒一人につき一つの企業しか面接できない状況であるので、そういった制度もございまして、就職希望者であると思われます。

倉嶋委員：

それは入学の段階でほぼほぼ3年間、卒業後は就職をしようと思ってきているのか、進路指導をしていく中で方向性を決めているのか、どちらでしょうか。

市立太田高校事務長：

3年間を通して徐々に就職のほうに気持ちが固まっていくと思われます。

議長（教育長）：

はい、ありがとうございます。他にご意見等がないようですので、以上で終了します。それでは事務局より連絡をお願いいたします。

事務局：

事務局より連絡いたします。教育委員会5月定例会を5月20日火曜日、午後2時から、尾島庁舎教育委員会室で開催予定です。よろしくお願いいたします。以上です。

議長（教育長）：

以上をもちまして本日の議事を全て終了し、4月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。